

# 江戸川大学 学報

## 江戸川短期大学

## - 目次 -

関係法令等	1
学内規程	2
主要日程	2
諸報	3
海外研修	8
団体紹介	10



オープンキャンパス(8月25日)

B棟5階で行なわれた学科別テーマスタディーズの風景。学科の紹介が展示され、在学生や教員が高校生に詳しく説明をしています。

## 関係法令等

### 【政令】

- 私立学校法施行令等の一部を改正する政令(政令第226号)(文部科学省)  
平成16年7月9日交付、平成17年4月1日施行
- 私立学校教職員共済法施行令等の一部を改正する政令(政令第288号)  
平成16年9月29日交付、平成16年10月1日施行

### 【省令】

- 私立学校法施行規則の一部を改正する省令(文部科学省令第37号)  
平成16年7月9日交付、平成17年4月1日施行
- 文部科学省関係構造改革特別区域法施行規則の一部を改正する省令(文部科学省令第39号)  
平成16年8月31日交付、平成16年10月1日施行
- 文部科学省関係構造改革特別区域法第二条第三項に規定する省令の特例に関する措置及びその適用を受ける特定事業を定める省令の一部を改正する省令(文部科学省令第40号)  
平成16年8月31日交付、平成16年10月1日施行

### 【告示】

- 日本私立学校振興・共済事業団が行う健康の保持増進のために必要な事業に関する指針を定める件(文部科学省告示第130号)  
平成16年8月3日交付
- ソフトウェア等脆弱性関連情報取扱基準を定めた件(経済産業省告示第235号)  
平成16年7月7日交付、平成16年7月8日施行

## 学 内 規 程

## 江戸川大学規程等制定

電子著作物取扱い規程の制定(16.9.1施行)

電子著作物の権利持分の決定と仲介に関する申合せの制定(16.9.1施行)

警察官の江戸川大学構内への立ち入りに係る対応についての制定(16.10.1施行)

## 江戸川大学規程等改正

学外実習授業出張旅費支給基準の改正(4.4.1施行)

[学生部改組に伴うもの、学生部長を教務部長に修正(16.4.1)]

## 江戸川短期大学規程等制定

セクシュアル・ハラスメント防止ガイドラインの制定(16.7.15施行)

セクシュアル・ハラスメントに関する苦情相談体制についての制定(16.7.15施行)

## 江戸川大学・江戸川短期大学規程等改正

大学・短大における物品の購入等の手続についての改正(16.7.1施行)

[第2条第1項 1回の支払金額が10万円未満を10万円以下に修正(16.10.1)]

【大 学】		主 要 日 程	【短 大】	
10月1日(金)	AO期(～12/20)		10月11日(月)	体育の日
10月2日(土)	留学生入試期		10月14日(木)	教授会
10月11日(月)	体育の日		11月1日(月)	学園祭準備日
10月20日(水)	教授会		11月2日(火)	学園祭
11月1日(月)	学園祭準備日		11月3日(水)	学園祭・文化の日
11月2日(火)	学園祭		11月4日(木)	学園祭片付け
11月3日(水)	学園祭・文化の日		11月5日(金)	創立記念日
11月4日(木)	学園祭片付け		11月13日(土)	教授会・推薦入試期
11月5日(金)	創立記念日		11月15日(月)	AO入試期(～12/22)
11月6日(土)	推薦入試期		11月23日(火)	勤労感謝の日
11月17日(水)	教授会		12月16日(木)	教授会
11月23日(火)	勤労感謝の日		12月17日(金)	推薦入試期(～18)
12月11日(土)	推薦入試期、環境デザイン学科特別 推薦入試、留学生期入試		12月22日(水)	冬期休業開始
12月15日(水)	教授会		12月23日(木)	天皇誕生日
12月20日(月)	卒論提出日			
12月21日(火)	授業終了日			
12月22日(水)	補講(～27)			
12月23日(木)	天皇誕生日			

## 入 試 日 程

## ・大学

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
留学生入試Ⅰ期	9月13日～17日	10月2日	10月5日	10月6日～13日
推薦入試Ⅰ期	10月25日～11月1日	11月6日	11月10日	11月11日～18日
推薦入試Ⅱ期	12月1日～8日	12月11日	12月14日	12月15日～22日
環境デザイン学科 特別推薦入試	12月1日～8日	12月11日	12月14日	12月15日～22日
留学生入試Ⅱ期	11月22日～26日	12月11日	12月14日	12月15日～22日
3年次編入学入試 公募推薦方式	10月25日～11月1日	11月6日	11月10日	11月11日～18日

## ・短大

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
推薦入試	I期 11月1日～9日	11月13日	11月17日	11月19日～26日
自己推薦入試	II期 12月1日～14日	12月17,18日	12月20日	12月22日～28日

## 諸報

### 平成16年度9月期卒業式 6名が社会に巣立つ(大学)



平成16年9月29日11時から、6名(人間社会学科2名、マス・コミュニケーション学科2名、環境デザイン学科1名、経営社会学科1名)に学位記授与が行なわれました。式終了後、写真撮影や父兄を交えた会食が行なわれ、なごやかに終わりました。

### 新体育館の建設、グラウンド整備等 体育施設の整備図る(大学)

大学では、スポーツを通して健全な精神の育成を図ろうと部活動の育成に力を注いでおります。グラウンドの整備、体育館の増設など順次計画的に実行し、教育効果の向上・学生サービスの充実に努めております。

#### グラウンドの整備について

9月24日、グラウンドの照明設備とスプリンクラーの設置が完了しました。今年3月に実施したグラウンド改良工事から続く一連のグラウンド整備がこれで完了することになります。

スプリンクラーは30mの放水能力があり、グラウンドを大体カバーできます。また、グラウンドの照明は20時まで点灯することができます。

#### 新体育館の建設について

10月中旬から、現在のテニスコート跡地に、新体育館の建設が始まります。

現在、体育館は駒木キャンパスの3校が共同利用しています。授業の空き時間に学生団体は交代で利用し、やりくりしてきました。体育館を増

設し、学生団体が十分な活動ができるように慢性不足状態を改善します。

新体育館には、アリーナの他、スタッフルーム、トレーニングルーム、部室、更衣室、シャワールーム、器具庫を備えています。平成17年3月には完成する予定です。

テニスコートは、新体育館の隣に3面用意されます。

### 多くの女子学生を見守ってきた さつき寮、解体へ(大短)

さつき寮は専門学校の開学2年目、昭和57年4月に開寮しました。それから22年間、約1,200人の女子学生を送り出しましたが、利用者が減ったため、平成16年3月をもって廃寮することになりました。

短大、大学開学後、平成3年から8年まで、100人を超える寮生が生活を共にしました。部屋数は61室なので、寮生が減って一人部屋になった6年前まで、二人部屋でした。開寮以来、

寮監を務めた専門学校職員の田村さんは、「人数が多かった時期は、専門・短大・大学の学生が交流したことでとても仲良くなり、寮の運営の礎を作ってくれました。」と、苦楽を共にした寮生を思い出し、懐かしそうでした。

さつき寮は解体されますが、卒業した寮生たちの心に良い思い出として生き続けるでしょう。「さつき寮」、お疲れさまでした。



寮生を迎えた玄関

### クラブハウスに無線LAN導入 学生生活を支援(大学)

8月31日からクラブハウスでも無線LANを介してEDO-NETを利用できるようになりました。

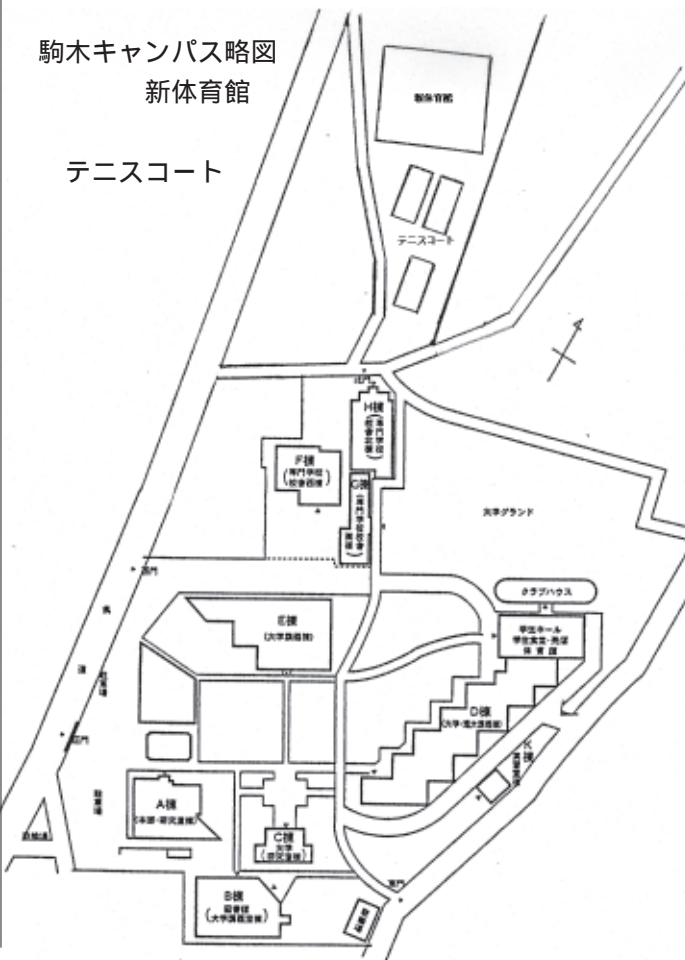
今までクラブハウスからインターネットへはダイヤルアップ接続をしていました。そのため、クラブ活動を紹介するウェブページの更新が進まず、電話代もかかるなど学生生活に支障がありました。「学生の学内活動の活性化」を目指す学友会は、学生団体にアンケートを取り、需要状況を調査した上で、学生部長に要望書を提出しました。

大学は学生の要望を検討した結果、クラブハウスにもネットワークの導入が必要であると認め、体育館のクラブハウス側の壁に無指向性屋外アンテナを設置することで利用できるようになりました。

大学は学生の要望を検討した結果、クラブハウスにもネットワークの導入が必要であると認め、体育館のクラブハウス側の壁に無指向性屋外アンテナを設置することで利用できるようになりました。

駒木キャンパス略図  
新体育館

テニスコート



## サッカーで盛り上がった 江戸川カップ(大学)

平成16年度江戸川大学「江戸川カップ」が7月20日から28日までの9日間、開催されました。学生部が主管となり、大会運営や選手登録の管理、会場設営や審判の派遣などの運営は学友会とサッカー部が主体となりました。

事前に行なわれた各チームの代表者会議では、「サッカー行動規範」から、あらゆる面でフェアな行動を心がける「フェアプレーの精神」や、どんな状況でも勝利のため、またひとつのゴールのために、最後まで全力を尽くしてプレーする「最善の努力」などを確認しました。



青いユニフォームが優勝した球技愛好会

サッカー経験のないチームを含め、8チームがユニホームを揃え参加しました。7月28日(水)に行われた決勝戦は、校歌が流れる中、球技愛好会と1年経営社会チームが入場し、一般学生の拍手とともに試合が始まりました。どちらも譲らないままの後半20分に球技愛好会が先制し、1年経営社会チームが猛攻するも追いつけず、試合は終了しました。

表彰式では、球技愛好会に優勝賞品が、参加チームにも記念品が贈呈され、大会の幕が閉じられました。

この大会の目的「にぎやかキャンパスづくり」、「サッカーを通じての友情を広げサッカーを通じて人として成長すること」は、十分に達成されたと感じる9日間でした。

## 第45回全日本漕艇新人選手権大会 男子ダブルスカル6位(大学)

第45回全日本漕艇新人選手権大会が10月1日から3日にかけて埼玉県戸田ポートコースで開催されました。

主将渡辺藤人君(環境2年)と袴田圭祐君(経営1年)が「男子ダブルスカル」に出場し、準決勝1500mで先頭にたつも、最後で東京経済大学に抜かれ、決勝に進めず、順位決定戦に臨みました。7分2秒65と好成績を残し、6位入賞を果たしました。



この大会は所属先で2年目までの新人選手に限定され、実業団や大学、高校から全62クルーが参加するなか、1・2年生コンビの今後が楽しみな結果となりました。

写真は、8月27～29日全日本大学漕艇選手権「女子ダブルスカル」に出場した環境3年豊田朗子さんと環境2年堀田恵理佳さん。3,4年生のベテラン勢が占めるなか、準決勝まで進出する大健闘を見せました。

## 大学協賛 04'手賀沼ジャズフェスティバル 3万人来場・学生活躍

通称「手賀ジャズ」は市民主催の音楽イベントで、今や東葛地区最大規模となりました。市民レベルの音楽文化の発信という趣旨と共に、ふるさと公園をきれいにして返そうと清掃活動にも尽力しています。

朝倉教授と共に48名の学生がスタッフとして参加し、本学も協賛しています。朝倉教授は実行委員会の中枢メンバーで、学生たちは

主にゴミ減量化や会場内ミニFM、イベントの収録を担当しています。

来場者にゴミ袋を渡し、来場者にも清掃活動に協力してもらったり、会場内のゴミボックスの中に学生たちが入り、ゴミを受け取って分別をするなど一日大変な作業をしています。さらに、昨年はスタイニーボトル(栓抜きを使わない瓶ビール)、今年からリサイクルトレイ・リパック(容器の内側のフィルムを外して捨て、外側の容器は再生)を導入し、データ収集を行い、複数年計画でゴミの減量化に取り組んでいます。



名物ゴミボックスの前で。朝倉教授と学生たち。

学生たちのリーダー、マスコミ3年遠藤和博君は「スタッフは5月からミーティングを重ね、全員が様々な担当を自ら引き受け、責任をもって準備を進めていきました。そして迎える当日は、とにかく楽しい。やりがいがあります。」と充実感に満ちた表情でした。学生たちは、世代を超え、大学の垣根を越えて活躍しています。

## スポーツビジネス研究所主催 “バスケットクリニック”200人集まる



北原憲彦教授(中央)の指導に聴き入る高校生

同研究所は、7月4日青森県広前実業高校で“バスケットボールクリニック”を開催しました。バス

ケットボールの技術向上を目指すと同時に、スポーツビジネスへの理解を深めようと開かれました。

今回は、北原憲彦教授、富士通で活躍した非常勤講師の守屋志保先生、中原真理さん、本学バスケット部の学生あわせて5人が指導にあたりました。

県内6校からは約200人の高校選手達が集まり、北原先生の話術に選手は笑顔が絶えず、楽しい中にもメリハリのあるクリニックに、大変盛り上がりしました。

「うまくなれば、楽しいんです。」と語る北原教授は、多忙な選手時代に会社員として人事管理や営業もこなしていた経験から北原流指導法のコツをつかんだそう。「相手の目線に立って惹きつけながら教える」北原流指導法は、指導者にも学ぶところが多いようです。

### エクステンションセンター 秋の公開講座始まる(大短)

夏期公開講座は、パソコン教室や、江戸文学講座などバラエティに富んだ6講座を実施し、約150名の一般市民の方々を受講生として迎えました。

現在は、9月～10月開講の8講座に一般市民約100名のご応募をいただいで、後期公開講座を始めたところです。

講師は大学教員だけではなく、夏期講座の「江戸文学」は、短期大学の佐藤毅教授の講義で、柏教室一杯に受講生があふれました。

また、後期公開講座では、同じく下平武治教授の「思いを伝える短歌」講座が進行中です。

その他、本来駒木キャンパスの授業として行う講義を「柏教室」に持ち出し、学生・一般市民混合の受講も楽しめる「ベンチャーマネジメント論」(餌取章男教授、4単位)などのような講義も開設し



### 第13回房総一宮館文学碑記念短歌会 短歌部3名が受賞(短大)

房総一宮館文学碑記念短歌大会とは、平成3年5月芥川龍之介ゆかりの地一宮館に文学碑が建立されたのを記念して創設された短歌会です。

この創設に、本学名誉教授故新井章先生や本学元教授鳥海宗一郎先生が世話人として携われました。現在では、北原由夫学長が選者として、下平武治学科長が事務局長として活躍されています。

一宮館は、九十九里浜南端の長生郡一宮町にあります。芥川龍之介は、大正五年夏一宮館の離れに滞在し、

君の目はいつも誰かを映している  
いつかその目に僕を映して  
万沢 亜希子



野山 美珠希

桜散る路を踏みしめ今日もまた  
スーツ姿で就職活動

佳作



野山 千珠穂

今日もまたバイトが終わり空腹で  
二倍においしいほかほかご飯

文学碑記念短歌賞・一宮文庫賞

のちの夫人文さんに愛をうちあけた長い求婚の手紙を書いています。この離れ「芥川荘」は、平成13年5月文化庁の登録有形文化財に指定されました。この短歌会の選者には、千葉県を代表する歌人の大塚布見子やアララギ派歌人吉村睦人などが名を連ね、参加者も百名近くになります。年配の方が多くなか、短大生は若い受賞者となりました。受賞した野山千珠穂さんと美珠希さんは双子の姉妹で、「日常のちょっとした出来事を歌にするのが楽しい。」と創作を楽しんでいる様子。諸先生方のご活動により、文学の裾野が十数年をかけて広がりをみせています。

ています。

定員に空きがある場合は、本学の学生、教職員の方々には無料でご参加いただけます。お気軽にどうぞ。

講座を受講してみました!

今話題の「プロ野球再編問題」にはプロ野球ファンでなくても関心が高まっています。

元東大出身のプロ野球選手という経歴を持つ、小林至助教授(写真)が、「スポーツマネジメント講座」の第2回の講師を担当されるということで受講してみました。

タイトルは「プロ野球はなぜ行き詰まったか」。NFLや大リーグと日本のプロ野球の収益構造の違いから始まり、日本とアメリカの公共性の理解の違いや複雑なビジネス体系など、スポーツビジネスコース担当教員ならではの専門的な講座。プロ野球自体をよく知ら

ず、始めは理解できるか不安でしたが、簡潔でとても分かりやすく、スポーツビジネスの可能性を感じられた90分でした。

質疑応答では、受講生から次々に質問が寄せられ、1時間にも及びました。「ビジネスとして成り立たせるためには、地域に愛される工夫が必要」とプロ野球界を叱咤激励。この点については、大学も同様ではないかと感じました。

地域に愛され応援してもらえる大学となるよう、エクステンションセンターの活動に期待がかかります。(K.K.)

### 7・8月オープンキャンパス 参加者数増加(大・短)

7・8月のオープンキャンパスの参加者数が、昨年の1.3倍と増加しました。オープンキャンパスへの参加は、高校生の間で進路選

択コードとして浸透しつつあるようです。

また、1, 2年生でも進学希望者には夏休みの宿題としてオープンキャンパスに参加させる高校もあり、高校生にとって大学のオープンキャンパスが身近なものになっているようです。

本学では、高校生の様々な疑問に答えるため、教員や在学生とのふれあいを大切にしたいイベントにしています。模擬授業やキャンパスツアーをはじめ、個別相談コーナー、在学生コーナー等を設けている点は一般的なオープンキャンパスと同様ですが、多数の教員と学生が見学者一人一人に対応しています。



学生に案内される高校生たち

オープンキャンパスに様々な動機をもって訪れる高校生に、少人数教育をモットーとする本学ならではのきめの細かい対応を実現するために、今後ともご協力ください。

大学 7/28 202名、8/25 245名  
短大 7/31 56名、8/28 56名

平成17年度A0入試 期実施状況

	人社	マス	環境	経営	合計
定員	40	45	30	35	150
エントリー者数	32	53	15	65	165
辞退者数	1	1	0	3	5
合格内定者数	17	42	8	38	105
不合格者数	3	0	0	3	6
面談継続者数	11	10	7	21	49

・大学(平成16年10月13日現在)  
・短大のA0入試エントリー者数は22名、合格内定者数18名、面談継続者数は4名です。

## 図書館新システム “ELIS”の運用始まる

9月下旬より、図書館業務システムが新しくなりました。愛称を“ELIS(エリス)”と名づけたこのシステムでは、利用者が気軽に使える蔵書検索機能を備え、円滑な図書館利用を目指しています。エリスの由来は、Edogawa Library Information Systemです。

### 1. 検索性能の向上

これまでの蔵書検索システムでヒットしなかった図書データも拾えるよう、検索データベースを高性能なものに変えました。キーワードの切り出し性能が向上し、より精度の高い検索が可能です。インターネットでWebページを検索するのと同じような感覚で、気軽に扱えるようになりました。

### 2. 横断検索機能

国立情報学研究所の持つ“NACSIS-CAT”との連携した検索が可能です。総合情報図書館に該当図書がなかった場合には、そのままNACSIS-CATで同じ検索を行い、他の大学図書館ではどんな図書があるのかをスムーズに検索することが可能になりました。

### 3. 検索結果のメール送信機能

検索したけどメモに書くのが面倒くさい・・・といった不満を解消するため、検索した結果をメールで送信する機能がついています。検索後、メールアドレスを指定すれば一覧表示がメールで送られ、保存することが可能です。携帯電話にメールで検索結果を送るなど、メモの代わりに気軽に使えます。

### 4. 新着図書案内

新着図書・雑誌の状態が一覧表示されるようになりました。最新刊の到着状況を眺めること

ができます。今後も利用者が一層便利に、気

## A0ルームで見られます。 地上デジタル放送(大学)

昨年12月から始まった地上デジタル放送を本学でもいち早く見ることができるようになりました。

10月13日に行なわれた「放送論」では、地上デジタル放送の説明の後、実際にA0ルームのモニタで学生が視聴しました。

地上デジタル放送は、現在、東京、名古屋、大阪等の一部の地域で見ることができます。本学はこの辺りでも高い場所にあるため、東京タワーから発信される電波をキャッチすることができました。

地上デジタル放送では、地域の細かな交通や生活情報などがいつでも見られる「データ放送」や家にいながら番組に参加できる「双方向機能」があり、家庭のテレビを情報社会の窓口にすると言われていいます。現行の地上アナログ放送は、2011年7月には終了し、テレビは全てデジタル化することになります。



放送論の講義中 デジタル放送を視聴する学生

軽に使えるよう、システムの充実を図っていく予定です。積極的にご利用ください。

ちなみに、“エリス”のロゴの隣にいる女の子は、本学の学生の“ヒカル”です。入試広報課のウェブページで、「ヒカルの日記」を更新中。3Dキャラクターとして、ウェブサイトをナビゲーションしています。一度ご覧下さい。

Edogawa Library  
Information System



ヒカルは、名古屋出身の大学2年生。

## セクシュアル・ハラスメント相談員 連絡方法等(大・短)

本学では「セクシュアル・ハラスメント防止ガイドライン」を設けております。大学は教育・研究の場であり、「人格を認めあい」、「個人として尊重される」ことが重要です。大学におい

て、セクシュアル・ハラスメントは、学ぶ権利、働く権利への重大な侵害となります。

本学は、全構成員にとって、快適な教育研究環境、労働環境を維持するために、広く啓発活動を行うとともに、相談が発生した場合の公正な相談、調査体制を整え、「セクシュアル・

ハラスメントに関する苦情相談体制について」制定しました。

この制定に基づき、相談員を置きます。相談があれば、下記の相談員の誰でも良いので、まずは苦情相談がある旨連絡してください。相談内容は厳守されます。

### 主として大学生からの相談に対応

氏名	所属	連絡方法	連絡可能曜日・時間帯など
松田 英子	人間社会学科	・E-mail eikom@edogawa-u.ac.jp ・その他 A623研究室	随時 木曜日、金曜日
秋葉 和子	マス・コミュニケーション学科	・電話 内線475 ・FAX 045-922-2289 ・E-mail kazukoa@edogawa-u.ac.jp	月曜日から木曜日は研究室在室 FAX、e-mailはいつでもよい。
詹 萍	環境デザイン学科	・E-mail zhan@edogawa-u.ac.jp	メールならば、いつでもよい。
小林 至	経営社会学科	・電話 090-6510-4437 ・FAX 03-3906-6277 ・E-mail Itaru@edogawa-u.ac.jp	いつでも結構です。 連絡手段どのような形でもよい。
郡司 俊雄	スポーツ・ビジネス研究所	・電話 内線372 ・FAX 04-7154-2490	水曜日3限、金曜日5限

### 主として短大生からの相談に対応

相談員氏名	所属	連絡方法	連絡可能曜日・時間帯など
福井 嗣泰	学生部長	・電話 内線330 04-7139-3211(自宅) ・FAX 04-7139-3211(自宅) ・E-mail ttfukui@edogawa-u.ac.jp	研究室 火～金 9:00～17:00 学内内線番号にFAX送信可 e-mail 随時
近藤 益世	学生部委員	・電話 内線483 03-3357-5745(自宅) ・携帯 080-1204-3278	電話(自宅・携帯) 随時 電話・携帯にはメッセージが残せません。

### 主として大学教員からの相談に対応

氏名	所属	連絡方法	連絡可能曜日・時間帯など
柴田 良一	人間社会学科	・電話 内線361 ・E-mail shibata@edogawa-u.ac.jp Ryshibata@nifty.com	木曜日 4限 金曜日 2限 その他在室時随時
恵 小百合	環境デザイン学科	・電話 090-8502-6636 ・FAX 04-2936-4120 ・E-mail smegumi@edogawa-u.ac.jp ・その他 研究室在室時間 右記以外	←メッセージが残せません。 ←自宅に帰宅後見られます。 ←割と頻りにチェックします。 ←火2・4,木3・4,金3・4

### 主として短大教員からの相談に対応

相談員氏名	所属	連絡方法	連絡可能曜日・時間帯など
佐藤 毅	学生部委員	・e-mail satot@edogawa-u.ac.jp	匿名不可、後日面談日時、場所を通知します e-mail 随時 研究室宛書簡
宮崎 孝治	学生部委員	・携帯 090-6173-8353 ・E-mail kojim@edogawa-u.ac.jp kojim2003@ezweb.ne.jp	発信番号開示の時、応答します。メッセージも残せます。 e-mail 随時

### 主として職員からの相談に対応

氏名	所属	連絡方法	連絡可能曜日・時間帯など
加藤木 巧	入試課	・E-mail katougi@edogawa-u.ac.jp	月～金曜日 9:00～17:00
堀 美幾子	総務課	・E-mail mikihori@edogawa-u.ac.jp	随時

## 夏期休暇中 海外研修特集(大・短)

本学の特色でもある豊富な海外研修。夏期休暇中に参加した学生たちにレポートしてもらいました。ご協力くださった学生さん、ありがとうございました。

### イギリスでの貴重な3週間 文化コミュニケーション学科2年 川田高大君

私は短大で英語を専門に学んでいるので、自分がどの程度英語を話せるかどうか試してみよう、と思い参加しました。

出発当日。機内では、もっと英語の勉強をしておけばよかったと焦りを覚えましたが、イギリスの空港に着くと私たちがこれからお世話になるサネットカレッジの講師の方々が温かく出迎えてくれて、不安が吹っ飛んでしまいました。空港から約2時間、バスに揺られながら向かった先は私たちの滞在するブロードステアーズのホームステイ先。これまた家族の方が温かく出迎えてくれていました。挨拶をすませ、部屋に案内してもらいこの家の家訓のようなものをいくつか説明されましたが、正直言って何を言っているのか殆どわかりませんでした。後に部

屋に張り紙を見つけ、ああ、こういうことを言っていたのか、と分かりました。所詮私の英語はこの程度か、といきなり挫折。

次の日はサネットカレッジにて午前中はテストを受けて、午後はそのテストの結果をもとにそれぞれの教室に振り分けられ早速授業が始まりました。最初から数日間授業が大変でした。全てが英語で説明されるので、講師の言われたこと一つ一つを集中して聴いていないと何を言っているのかさっぱり分からなくなってしまう。しかし、1週間も過ぎると自然に耳に入ってくるようになります。耳が慣れるとはこういうことなのかと実感できました。言葉が聴き取れるようになってくると、自然と会話もできるようになり、同じ教室の海外から来ている研修生たちとも仲良くなることができました。

れていて、内部の天井は非常に高く、ステンドグラスから差し込む光が綺麗でした。最後の3日間のフリータイムは1日目にマーゲイト、ラムズゲイトといった海沿いの町を、引潮だったので砂浜を散歩し、2日目はドーバーという街へ行きました。遠くの丘にドーバー城がそびえ立つのが見えて思わず歓声をあげてしまいました。城と言っても大戦中は砦として使用されていたもので、外はごつごつとした重厚な印象を受けました。中は大変入り組んでおり頂上を目指すのに時間がかかりました。息を切らしながら階段を上り、頂上へ出た時の目の前に広がる、あの綺麗な町並みは最高でした。

3日目はロンドンをメインに歩きました。まずは国会議事堂。テムズ川を挟んだ対岸からの国会議事堂は、なんともいえず美しさでした。そしてロンドンで一番感動させられたのはウエストミンスター寺院。近くで見る寺院の高さや荘厳な装飾に圧倒されました。何度見てもため息が出るほど本当に美しいところでした。

そんな楽しいイギリスでの3週間はあっという間に過ぎてしまい、講師の方や友達、ホームステイ先の家族とたく握手を交わし、後にしました。

3週間という短い期間の中で得たものはかなり大きいと思います。特に英語においては、イギリスへ行く前に比べてだいぶ上達したので、これで終わりではなく日本に帰ってからもしっかりと勉強してものにしていきたいと思います。



ケンブリッジ大学のキングスカレッジで

授業を受ける一方で、週末や午後の空き時間を使ってロンドンやカンタベリー、ブルーウォーターなどの観光にも皆で出かけました。特に印象に残っているのはカンタベリー大聖堂です。屋根の先端が空高くつきあがり、建物の周りには繊細な装飾が施さ

### ニュージーランド語学研修を終えて 人間社会学科1年 池田 槇夫君

私がニュージーランドでとても驚いたことは、時間の使い方が日本とはまるで異なるということだ。日本では時間は貴重なもので、昼も夜も関係なく人々は働き、何をするにも一分一秒を争う。ところが、ニュージーランドでは、大きな街でも7時くらいには人の姿は少なく、ネオンや外灯等もない。私がホームステイしていた家では、5時半くらいには夕食を作り始めて、7時前には食べ終わってしまう。

こんなこともあった。バスを乗り間違えた子供がいて、運転手はその子のために道を引き返し、元の所まで送ってあげ

ただ。それによりバスのダイヤは大幅にずれることになった。しかし、運転手や他の乗客は気にすることもなく自然であった。他にもバスが40分くらい遅れることがあったが、アナウンスなどが流れることもなく、誰もそれに対して怒ることもない。日本ではどうだろうか。電車が少しでも遅れるこ

とがあれば、謝罪のアナウンスが流れ、それを聞いたサラリーマンや通学生の中



フィールドワークで斗鬼先生の話聞く学生たち

には怒りを露わにする人もいる。

ニュージーランドでは時間に対する焦



りというものがまったくなくのんびり暮らしているのに対し、日本では日々時間に対しての焦りと戦いながらせかせかと暮らしている。

そのことが良く分かるのが、テストだ。ニュージーランドで私たちが受けたテストは制限時間が決められてなかった。焦ることなく自分の力が発揮できるのだ。

### オーストラリア語学研修を通して 双・コミュニケーション学科1年 三宅早紀さん

私たちGコースはオーストラリア、メルボルンにあるモナッシュ大学に研修に行った。モナッシュ大学はメルボルン空港から車で1時間ほど行った所にあり、近くには海、又車で少し走れば羊や馬や牛が遊牧されているとても穏やかな感じの町であった。

到着の翌日から早速授業が始まった。まずはクラス分けのテストを行い2つのグループに分けられた。三週間の間



卒業式でスピーチする学生代表

日本では制限時間を設け、時間内にどれだけ暗記したことを出せるか、が問われる。日本とニュージーランドでは、求められている力も違うのだ。

街中や店内、家の中でも時計が少ないのがニュージーランドだ。そもそも時間と言うものが存在するのだろうか、という疑問が生れた。時間というものは、人

フィールドトリップと土日を除いては9時から3時までの授業が行われた。内容はとても基礎的なもので難しくはなかったが先生の言っている事を理解するのに多少時間がかかった。又、授業の一環として週に一回ほど、3~4人のグループに分かれて地元の人とのコンパセーションが行われたが、これはホストファミリーや先生以外のネイティブの人との唯一のコミュニケーションだったのでとても良い経験となった。

しかし、私が残念に思ったのは、私達の教室があった棟は日本人の学生しかいな

かったので、現地の学生とのコミュニケーションが取りにくかったことである。日本に帰ってきてから自分からもっと積極的にいくべきだったと後悔している。

この海外研修で最も良い思い出になったのはなんと言っても、フィールドトリップと1泊2日の

間が生きていく上で便利だから作り出されたのではないかと時間に制限されることで人は規則正しい生活ができるし、焦りを持つことで力が引き出せるかもしれない。だが、私は、ニュージーランドのように焦らず、慌てず、心穏やかに生きている人たちを素晴らしいと思った。

グレートオーシャンロードツアーである。フィールドトリップで行ったフィリップアイランドでは、コアラやペンギン、カンガルー、エミューなどオーストラリアの動物を身近で観察し触れることができた。1泊2日のツアーは自由参加にもかかわらずほとんどの人が参加した。2日間の走行距離はおよそ1200kmにもおよんだが、みな自然を満喫し楽しい旅行となった。こうした旅行などを通して、初めよりもみなお互いに打ち解けあいグループの雰囲気は良くなっていったように感じる。

時間がたつのはとても早く残り一週間となった時、私たちはグラドゥエーションでホストファミリーや先生方に感謝の気持ちをこめて「桃太郎」の劇を上演することにした。なかなか思うような練習はできなかったが、当日の上演は大成功に終わりホストファミリーや先生方はとても喜んでくれた。きっと、皆一生の思い出になったことだろう。

今回の海外研修を通し私達は、人間の優しさや愛情を肌で感じ取ることができた。又、違う文化を体験することでその文化を理解し尊重しあい、お互いに何かを見出せたのではないだろうか。

### フィンランド専門研修に参加して 環境デザイン学科2年 清水勝也君

自分にとって初めての海外で、英語もろくにしゃべれないのでとても緊張しました。当日、飛行機で約10時間、日本を飛び立ったのが午前10時、日本とフィンランドの時差はおよそ6時間あり、フィンランドに着いたのが午後2時とかなりの時差を感じました。

ヘルシンキ空港に着いてみると肌寒く、あいにくの雨でした。バスでしばらく走ると辺りは一面緑で、今回のテーマである農業と環境を学ぶ場所としてはピッタリだと思いました。私たちが2週間生活したヘルシンキ大学・ランミ生物研究所の周りは畑に囲まれており、近くに湖がありました。

私たちの日程は、朝7時に朝食で、8時から講義や、フィンランドの各地に見学や調査をしにバスで行き、夕方5時には夕食、その後は自由時間でした。

見学の中には、フィンランドで行われた大規模なボイスカウトジャンボリーにおける廃棄物や汚水処理の実態調査や、リサイクルセンター見学などがあり、フィンランドが環境に対して積極的に対応していることがわかりました。

私たちがこのセミナーの中で行った調査はフィンランド南部湖沼地帯の東から西にかけて松の木に生息する苔の生育分布を調査することでした。その調査結果は研修最終日にレポートとして提出し、プレゼンテーションを行いました。

自由時間にはサウナに入り、湖で泳いでいました。そのほか親睦を深めるため



プレゼンテーションを行なった4人

に飲み会などもやりました。私はこのような日程をフィンランドで過ごし、環境のことはもちろん何か大きなものを得た気がします。

## 江戸川学園学園祭実行委員会の紹介



大学委員長  
マスコミ3年  
狩俣 博子さん

中学ではハンドボール部で泥だらけになってボールを追いかけて、高校では全く違う分野の写真部で頑張ってきました。大学ではイベント企画に興味を覚え、学園祭実行委員会に入りました。実行委員として2

年間活動を続けてきて、今年は実行委員として最後の年。学園祭全体をリードする立場である大学委員長をやることで、自分の指導者としての力量を試してみたくなり、大学委員長を務めることにしました。

委員長の主な仕事は「各局が円滑に仕事が進められるようにサポートすること」「会議の進行」「資料チェック」など全体を把握することです。各校の三芽祭実行委員担当教員と話し合い、

三校が1つになるようにするのも重要な仕事です。

今年の三芽祭のテーマは「匠」。職人としてのプロ意識を少しでも学び、より良い学園祭にしようと実行委員一同努力しております。学園最大のイベントである三芽祭を盛り上げるには、実行委員の力だけではなく、学生・教員・職員の協力が不可欠です。ご協力ください。



短大委員長  
文化2年  
田中 碧さん

昨年の春、江戸川短期大学に通うために鳥取から千葉にやってきました。専攻はマスコミコー

スです。短大に入学した当初は、学校生活は学業に励み、サークルに入っ、友達もそれなりにできて、楽しく二年間過ごせたらいいと考えていました。でも、ここで出会った友達と学園祭を動かしたいと思い、学園祭実行委員会に入りました。初めは「何もないよりは何かをしていたほうが楽しい」

という理由で実行委員の仕事をしていましたが、学園祭を一度経験して、たくさんの改善するべきところを見て、「まだまだこの学園祭を動かしていきたい」と感じたので、今年は短大委員長・広報局長として学園祭に関っています。いいものを創り上げるために頑張っていきます。



専門委員長  
社会福祉2年  
田端 卓也君

三芽祭実行委員会に入った理由は、それぞれ特徴のある三校の学生が一つの目標のため活動して

いる委員会に入ること、自分で考えて行動する力を磨くことができると思ったからです。

将来、私は知的障害児関係の施設で働きたいと思っています。去年は子供を対象とした企画を担当していましたが、当日の悪天候・呼び込みの失敗で混乱してしまい、仲間に迷惑をかけて

しまいました。しかし、最後の打ち上げ花火を見た時には、仲間と一緒に三芽祭が成功したことを喜び、感動しました。

今年は専門委員長として、三芽祭を盛り上げるだけでなく、委員が働きやすい環境を作り、無事成功させるように頑張っていきたいと思います。

## メイン企画

「餅つき大会～THE PETTAN～」  
11月3日(祝)  
午前の部 10:50・午後の部 12:20  
本部テント前  
流山シャークス(少年野球チーム)協力のもと、来場者の方々に餅を実際についてもらいます。子供用もあるので、大人から子供まで幅広い世代の方が体験することが出来ます。「三芽祭特性手作りあんこ」などを付けて販売いたします。ご参加ください。

## 今年のシンポジウム

「日本の自然を考える」  
11月3日(祝) 10:30～12:45  
映像ホール  
国立公園70周年を記念して環境デザイン学科主催で、環境省自然保護局長をお招きして開催されます。  
「アテネ・オリンピック・・・日本選手の戦い振り」(報道からの目)  
11月3日(祝) 13:00～14:30  
メモリアルホール

アテネ・オリンピック取材したスポーツ報道関係者から見た日本選手の戦い振りを現地でのエピソードを交えてパネル討論で話し合います。

講師：  
鹿間孝一氏(産経新聞編集局)  
鈴木誠治氏(スポーツニッポンスポーツ部)  
原田和幸氏(テレビ東京スポーツ局)  
司会：  
小林至助教授

夏休みが明けて、あっという間に秋がきました。行事の多い季節が始まります。学生さん取材してますと、一人でも何役もこなすスーパー大学生に会います。学業、部活動の他に、学友会活動や社会的な活動と、マルチな才能を發揮。最近の大学生は忙しいのだと感じるこの頃です。K.K

江戸川大学・江戸川短期大学学報第17号

平成16年10月1日発行

編集・発行 江戸川大学・江戸川短期大学事務局総務課

〒270-0198 千葉県流山市駒木474 TEL.04-7152-0661(代)